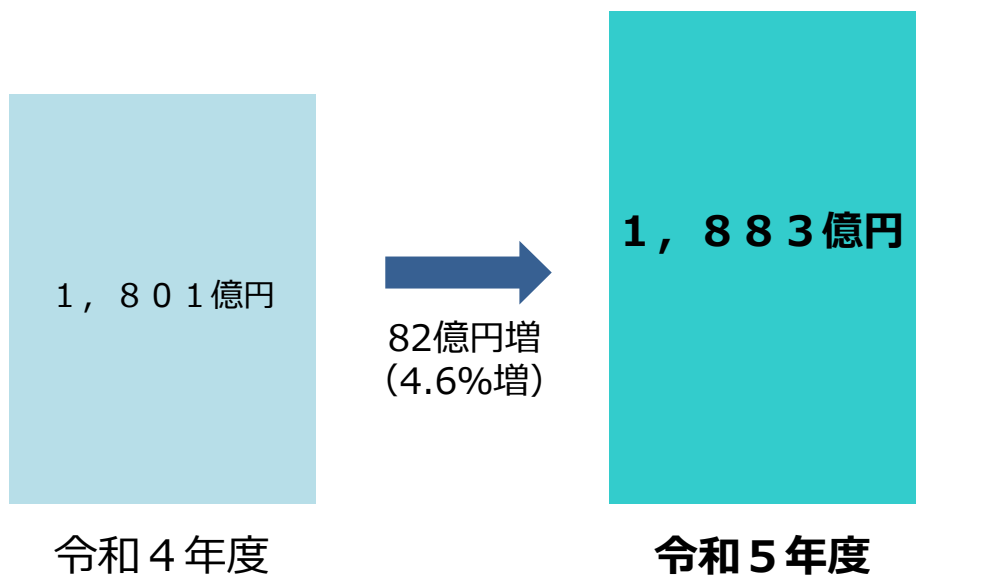


令和5年度 当初予算の概要

～みんなのミライ応援予算～

1

一般会計当初予算の総額



一般会計当初予算としては過去最高額

2

令和5年度当初予算編成のポイント

- ・新型コロナ感染症などによる社会環境の変化
- ・コロナ禍の課題を踏まえ、変わる社会・変えるミライへ挑戦

ポストコロナ社会を見据えた
 第8次豊田市総合計画後期実践計画の推進

こども・若者
 支援

生涯活躍
 の応援

安全・安心
 の確保

カーボン
 ニュートラル
 の推進

デジタル化
 の加速

ラー
 を生かした
 まちづくり

ミライへの希望と活気にあふれるまち

3

こども・若者支援 ①

こども・若者の課題解決支援



自分らしさ支援事業（4億3,269万円） **拡充**

全ての児童生徒が自分らしさを発揮して、社会的自立に向けて動き出すことを支援するため、スクールソーシャルワーカーの増員や心の相談員を全校に配置。また、新たに事業を統括し、推進するためのアドバイザーを青少年相談センターに配置

学校以外の民間施設等利用者への支援の検討（13万円） **新規**

児童生徒が学校以外の民間施設等を利用する場合の支援について、有識者や民間施設等と協議、検討

若者サポートステーション事業（3,158万円） **拡充**

自立に困難を抱える若者を支援するため、相談の常時受付、就労に向けたジョブトレーニングや居場所提供を実施。令和5年度からLINEによる相談窓口の開設及び仮想空間上で交流できるイベントを実施

子どもの権利条約フォーラム2023 inとよたの開催（870万円） **新規**

子どもにやさしいまちづくりの推進のため、子どもの権利について関心を寄せる人々の意見交換、出会い、交流の場として開催する全国フォーラムの開催を支援

4

こども・若者支援 ②



こどもが育つ環境の充実

こども園乳児受入れ枠の拡大 (4億5,121万円) **拡充**

子どもを生み育てやすい環境整備のため、令和5年度から育休退園制度を廃止。0～2歳児の利用定員拡大のため、プレハブ園舎の設置及び園舎改修設計を実施

こども園へのお昼寝ベッド導入とおむつサブスクの実施 (2,446万円) **新規**

保育環境の向上のため0～3歳児用お昼寝ベッドを導入するほか、紙おむつのサブスクリプションサービスを実施

産前産後の子育て家庭の支援 (709万円) **拡充**

産前産後の子育て家庭にヘルパーを派遣するほか、多胎妊婦に対し教室の開催や多胎児親の会の活動を支援。令和5年度から多子世帯を対象に、産前産後ヘルパーの利用可能年齢を1歳から3歳までに拡大

多胎妊産婦・低所得の妊婦への支援 (246万円) **新規**

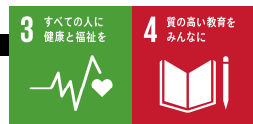
多胎妊産婦に対し多胎児の育児経験者を派遣し、相談支援を実施するほか、低所得の妊婦の負担軽減及び必要な支援を把握するため、初回の産科受診料を補助

おたふくかぜの予防接種への支援 (560万円) **拡充**

おたふくかぜのワクチン接種に対する助成を2回に拡充

5

こども・若者支援 ③



学校教育の環境の充実

きめ細かな教育の充実 (5億8,097万円) **拡充**

市独自の少人数学級の運営等のため、引き続き非常勤講師や非常勤養護教諭を配置。令和5年度から、小学1・2年生に加えて小学3年生についても30人学級を試行実施

小学校の校舎整備 (5億25万円)

児童数の増加に対応するため、中山小学校の校舎や体育館の建設工事を実施

放課後児童クラブの通信環境整備 (2,986万円) **新規**

放課後児童クラブ利用中においても学習用タブレットが使用できるよう通信環境を整備

私立高等学校授業料の補助 (2,228万円) **拡充**

私立高等学校等に在籍する生徒の保護者で一定の所得の範囲内の方に対し、授業料の一部を補助。令和5年度から全日制課程に加え、定時制課程及び通信制課程に補助対象を拡大

6

こども・若者支援 ④

3	すべての人に健康と福祉を	4	質の高い教育をみんなに	17	パートナーシップで目標を達成しよう
					

こども・若者の体験・社会参加支援

「学び・体験」施設の市内こども料金無料化（1,600万円） **新規**

学びや体験を重ねることを通じて豊かな人間性を培い、本市への愛着心を育ててもらうため、子どもの「学び・体験」に資する施設の利用について、市内在住又は在学する高校生以下の子どもの個人料金を無料化

コンサートホール・能楽堂の子ども鑑賞支援事業（308万円） **新規**

コンサートホール・能楽堂で行われる特定の公演について、小中高生を無料招待し、質の高い芸術鑑賞機会を提供

子どもの意見の反映と社会参加機会の確保（134万円） **拡充**

子ども会議を引き続き開催するとともに、令和5年度は子どもの考えを引き出すファシリテーション委託を実施



若者の社会参加促進事業（2,050万円※3月補正含む） **拡充**

意欲段階に応じた様々な体験活動、講座等を実施。令和5年度は、青少年センター1階サロンの改修や公式LINEアカウント等を活用した効果的な情報発信を実施

7

生涯活躍の応援 ①

1	貧困をなくそう	8	働きがいも経済成長も	9	産業と技術革新の基盤をつくろう
					

多様な学び・働き支援

（仮称）豊田市博物館の整備（32億9,366万円※3月補正含む）

豊田の歴史・文化・自然の魅力を広めるため、令和6年4月の開館を目指して、引き続き建設工事等を実施

求職者や働く人のデジタルスキルアップ支援（1,150万円） **新規**

習熟度に応じたデジタルスキルアップ研修や教育機関との連携によるデジタル化牽引人材の育成により、求職者等のキャリアチェンジ・キャリアアップと企業のデジタル化を支援

森づくり人材育成支援（5,099万円） **拡充**

人材育成経費等を支援。令和5年度は安全対策用設備の購入費の補助制度を新設

働きづらさを抱える人の就労自立支援（551万円） **拡充**

生活困窮者、生活保護受給者、認知症当事者、ニート、ひきこもり等、様々な働きづらさを抱える人への伴走型の就労自立支援を実施

幅広い就労支援の実施（5,623万円）

若年者、中高年齢者、女性、外国人等それぞれのニーズに応じた支援を引き続き実施

8

生涯活躍の応援 ②

8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	17 パートナーシップで目標を達成しよう
		

多様な人材の活用と産業活性化

多様な人材と企業への重層的なマッチング支援（1,840万円） **拡充**

多様な人材と中小企業のマッチング支援等を実施。令和5年度から人材確保に関するコンサルティングや地域連携型インターンシップなどにより支援機能を強化

メタバースを活用した企業PR（502万円） **新規**

メタバースを活用して企業等がブースを出展し、自由に交流を図るイベントを実施することで、企業のPRや人材マッチング等を促進

働き方改革推進に対する補助制度の新設（1,500万円） **新規**

中小企業が実施する働き方の多様化、多様な人材の活躍等に向けて実施する取組に対し必要な経費を補助

中小企業の経営力強化に対する支援（2,668万円） **拡充**

各種セミナーを実施するほか、人材育成、人材確保、販路拡大、BCP策定、事業承継・M&A、副業人材等活用に加え、令和5年度は新たに、サイバーセキュリティ対策に要する経費を補助

9



生涯活躍の応援 ③

3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	8 働きがいも経済成長も
		

高齢者の活躍支援①

官民連携介護予防「ずっと元気！プロジェクト」（1億3,193万円） **拡充**

高齢化の進展やコロナ禍における高齢者の外出抑制に伴う介護リスク上昇に対応するため、民間の知見を活用した成果報酬型の介護予防事業を実施。令和5年度は、参加者・継続率の増加を目指す効果的な事業展開により事業成果の向上を図る

「健康づくり・学びの機会創出」施設の市内高齢者料金無料化 **新規**

（1,600万円）

高齢者の外出を促進し、健康づくりや学びを通して生き生きと暮らしてもらうため、「健康づくり・学びの機会創出」に資する施設の利用について、市内在住の70歳以上の高齢者の個人料金を無料化

シニアアカデミー事業（758万円） **拡充**

シニア層が学びや体験、仲間づくり等を通して地域や社会に貢献する活動ができるよう、引き続き様々な講座等を実施するとともに、カリキュラム見直しや活動発表展を行い充実を図る

高齢者の生きがい活動への支援（4,675万円）

高齢者の生きがいづくりのため、高齢者クラブの活動や憩いの家管理運営に対し引き続き補助するとともに、高齢者の知識や経験を活かして制作した作品の展示会を実施

10



生涯活躍の応援 ④



高齢者の活躍支援②

地域スポーツクラブ連携高齢者健康増進事業（360万円） **拡充**

地域スポーツクラブと連携した高齢者の健康増進事業を実施。活動の更なる促進を図るため、交付上限額を引き上げ

高齢者への移動支援（3,938万円）

日常生活において、移動が困難な介護認定のある高齢者に対し、タクシー料金を助成するほか、とよたおいでんバスで利用可能な定期券「おでかけパス70」を引き続き販売

带状疱疹の予防接種への支援（2,304万円） **新規**

高齢者の罹患増加が見込まれている带状疱疹について、50歳以上の市民に対し、新たにワクチン接種に対する助成を開始

地域包括支援センターの運営（9億5,296万円） **拡充**

地域で暮らす高齢者を介護、福祉、健康、医療等の様々な面から総合的に支援。令和4年度に導入したシステムの運用を開始し、事務の効率化により、訪問・相談等の直接支援を強化



11

生涯活躍の応援 ⑤



地域共生社会の実現

地域共生社会推進全国サミットの開催（2,675万円） **新規**

地域共生社会を推進するため、地域共生社会推進全国サミットを令和5年10月に開催し、本市の取り組みを全国に発信

（前回開催地での様子）



日本プライマリ・ケア連合学会学術大会のサテライト開催（162万円） **新規**

在宅医療を推進するため、令和5年5月12日（金）～5月14日（日）に開催される、日本プライマリ・ケア連合学会学術大会について、5月12日（金）は豊田会場で開催

地域生活意思決定支援事業（590万円） **拡充**

金銭管理や生活支援など権利擁護支援を実施。また、新たに緊急時における手続き等の支援を充実

多文化共生まちづくりの推進（2,061万円） **拡充**

外国人幼児向け日本語教室などの地域多文化共生活動事業のほか、新たに国際交流員を配置し、市内の学校等において国際理解教育事業等を実施

12

カーボンニュートラルの推進 ①

市民生活における取組



とよた・ゼロカーボンアクションの促進 (1,500万円) **新規**

市民、事業者、行政が共働で、エコで豊かなライフスタイルを目指し、環境配慮行動を実践していくため、令和5年1月に設立した協議会「とよた・ゼロカーボンネットワーク」が中心となり、市民等の節電、3R、食品ロス削減などの取組を促進

市民参加型のプロモーションの推進 (4,000万円) **拡充**

幅広い世代の行動変容につなげるため、循環型社会の取組を体験できるイベントや、若い世代を対象としたファッションをテーマにしたアップサイクル活動などを展開



家庭用LED照明の普及促進 (5,600万円) **新規**

省エネ効果が高い家電製品への買い替えを促進するため、家庭用照明をLEDに買い替えた場合の費用を補助

次世代自動車の普及促進 (1億765万円) **拡充**

次世代自動車の普及促進を図るため、引き続きプラグインハイブリッド車や電気自動車などの購入に対して補助。令和5年度は、補助額の上限を引き上げ

14



カーボンニュートラルの推進 ②

産業経済活動における取組



中小企業等の省エネ生産設備の更新への支援 (5億円) **新規**

カーボンニュートラルへの取組を促進するため、新たに中小企業等の省エネ性能の高い生産設備の更新への支援を実施

中小企業等の再生可能エネルギー設備導入への支援 (5億円) **拡充**

カーボンニュートラルへの取組を促進するため、中小企業等の再生可能エネルギー創出等の設備導入への支援を引き続き実施。令和5年度からは「豊田市SDGs認証制度」認証企業の補助率を引き上げ

中小企業等のカーボンニュートラルの相談支援 (1,191万円) **拡充**

CO₂排出量の見える化や削減の取組を支援するため、引き続き中小企業経営者向けの講座を開催。令和5年度からは新たに個別訪問やコンサルティング支援を実施

SDGsの達成に向けた取組の推進 (1,530万円) **拡充**

持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた企業及び団体の行動を後押しするため、とよたSDGsパートナーの交流や発信を促進するほか、SDGsに取り組み市内企業に各種インセンティブを付与する「豊田市SDGs認証制度」を開始・運用

14



カーボンニュートラルの推進 ③



森林吸収量の向上

間伐における新作業システムの導入支援 (3,560万円) **新規**

経済と保全のバランスがとれた木材生産を図るため、路網整備に過度に依存しない架線系による新たな作業システムの導入を支援

UAV搭載型レーザによる測量及び森林資源解析調査の実施 (425万円)

間伐面積を拡大するため、UAV（小型無人ヘリ）に搭載したレーザを活用した測量と森林資源調査を実施することで、森づくり団地化を効率化

公共施設における取組

公共施設の照明のLED化推進 (669万円) **拡充**

公共施設の脱炭素化を図るため、こども園、子どもつどいの広場、中部・南部給食センター等の照明LED化を推進

公共施設のカーボンニュートラル推進と学校体育館等の暑さ対策検討 **拡充**

(2,442万円)

再生可能エネルギー設備の導入等を前提に、小中学校の体育館・武道場の暑さ対策を検討

15



デジタル化の加速 ①



市民サービスの向上

公共施設のキャッシュレス化の拡充 (1,208万円) **拡充**

支払方法を多様化し、市民の利便性向上を図るため、公共施設へのキャッシュレス決済機器の導入を継続して推進。令和5年度は交流館や体育施設を中心に対応施設を拡充

放課後児童クラブの通信環境整備（再掲） (2,986万円) **新規**

放課後児童クラブ利用中においても学習用タブレットが使用できるよう通信環境を整備

スマート窓口の開始 (2,009万円) **新規**

市民の利便性と事務処理効率の向上を図るため、令和5年6月から転出入や転居の届出窓口において、スマート窓口受付支援システムの運用を開始

LINEによる申請、予約機能等の活用 (597万円) **新規**

市民の利便性向上のため、社会インフラとして浸透しているLINEを活用した申請、予約機能等を導入

16



デジタル化の加速 ②

8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを
		

事業者のデジタル化支援

中小企業のDXモデル事例の創出支援 (2,000万円) **新規**

中小企業のDXを促進するため、デジタル技術を活用した業務の効率化や高付加価値化などのモデル事例の創出を支援し、横展開を実施

中小企業の5G活用の促進 (1,180万円) **新規**

中小企業の5G活用を促進するため、「ものづくり創造拠点SENTAN」に5G実証環境を整備するとともに、アイデアコンテストを実施

メタバースを活用した企業PR (再掲) (502万円) **新規**

メタバースを活用して企業等がブースを出展し、自由に交流を図るイベントを実施することで、企業のPRや人材マッチング等を促進

求職者や働く人のデジタルスキルアップ支援 (再掲) (1,150万円) **新規**

習熟度に応じたデジタルスキルアップ研修や教育機関との連携によるデジタル化牽引人材の育成により、求職者等のキャリアチェンジ・キャリアアップと企業のデジタル化を支援

17



デジタル化の加速 ③

8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを
		

事務・事業のデジタル化

デジタルツールを活用した事務の見直し (3,079万円) **拡充**

RPA等の活用やローコードツールによる事務改革、衛星画像を用いたAIによる農地判定など、デジタルツールを活用した業務の効率化を推進

DX人材の育成や民間のデジタル専門人材の活用 (2,820万円) **拡充**

職員向けの研修を新たに実施し、デジタルに関する知識・技術の取得によるDX人材の育成を図るとともに、副業人材や民間のDX人材の活用など、DXの推進に向けた市役所全体の組織力の向上を図る

将来に向けた取組

3D都市モデル活用の検討 (1,000万円) **新規**

現地の建物等を立体的に表現した3D都市モデルを構築し、洪水時の浸水シミュレーションに活用。また、3D都市モデルを防災分野のみならず、交通・物流分野など様々な分野への活用について検討 (3D都市モデルのイメージ図)



18



安全・安心の確保 ①



新型コロナウイルス感染症対策

◆ 感染拡大防止対策の徹底 ◆

ワクチン接種等の実施 (15億6,665万円)

高齢者施設・障がい者施設等職員に対する集中的検査体制の確保 (8,800万円)

自宅療養者等への相談・支援事業の実施 (4億4,969万円)

◆ 社会経済活動の活性化 ◆

商業団体への支援・消費喚起事業 (1億5,000万円) **新規**

新型コロナウイルス感染症や物価高騰等により、売上減少等の影響を受ける商業者を支援するため、商業団体が実施するプレミアム商品券事業に係る経費を補助

宿泊事業者等への支援・消費喚起事業 (6億5,000万円) **拡充**

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内宿泊関連事業者を支援するため、引き続き宿泊需要喚起策を実施(3月補正で令和4年度予算を繰り越し)。令和5年度はポストコロナを見据えた効果的な事業展開により更なる消費喚起を図る

19

安全・安心の確保 ②



防災・減災・防犯

指定避難所の通信環境整備 (1,291万円) **新規**

指定避難所において、災害時に避難者が通信手段及び情報収集手段として携帯電話・スマートフォンを使用できるよう、通信環境を整備

マイ・タイムラインの作成支援 (464万円) **拡充**

個人や家族の防災行動計画である「マイ・タイムライン」の作成ワークショップ等を開催し、防災意識の向上と避難行動につながる取組を推進。令和5年度は講師を育成するための作成支援講座を実施し子どもから家庭への防災教育を推進

盛土規制法の適切な運用 (4,979万円) **新規**

令和5年5月に施行される「宅地造成及び特定盛土等規制法(盛土規制法)」を適切に運用するため、規制区域の指定や既存盛土の分布調査を実施

道路・河川の防災対策 (9億7,421万円) **拡充**

大雨等の災害に備え、公共インフラの対策工事等を実施

特殊詐欺被害等防止機器購入への補助 (350万円) **新規**

特殊詐欺被害などの未然防止のため、特殊詐欺被害等防止機器の購入に係る補助制度を新設

20

安全・安心の確保 ③



公共施設の維持保全

スカイホール豊田の長寿命化（14億円） **新規**

スカイホール豊田の長期的な維持保全のため、空調設備やアリーナ照明等の長寿命化改修を実施

こども園保全業務の包括委託（1億1,000万円） **新規**

こども園における安全・安心の向上と保育士の多忙化解消のため、施設の保全業務を包括的に委託

道路施設等の維持管理包括委託導入の検討（2,300万円） **新規**

道路施設や雨水排水施設の維持管理を包括的に民間事業者へ委託するための手法等を検討

公共施設の施設情報のデータベース化（3,761万円） **新規**

施設の不具合への迅速な対応や計画的な修繕が効率的に実施できるよう、道路施設や市有建築物の施設情報をデータベース化

21



ラリーを生かしたまちづくりの推進 ①



世界ラリー選手権の開催（5億6,000万円） **新規**

全国で初めて自治体が運営主体となって世界ラリー選手権を開催

地方ラリー選手権等の開催（2,141万円） **拡充**

地方ラリー選手権やトヨタガズレーシングラリーチャレンジを引き続き開催。令和5年度は地域イベントの実施や観客席の見直しなど大会の魅力化を図る



（フォーラムエイト・ラリージャパン 2022の様子）

ラリーを契機としたまちづくりの推進

中心市街地におけるイベントや賑わい創出（5,200万円） **拡充**

来訪者への「おもてなし」演出と共に、まちなか回遊や消費促進に向け、中心市街地でのイベントやイルミネーション装飾など、賑わいを創出する取組を実施

会場施設等の整備（1億6,462万円） **拡充**

世界ラリー選手権開催を契機として、関連する施設の整備、拡充等を実施

豊田市PRドラマの制作（1,000万円） **新規**

ラリーをPRするとともに、映像を通して本市の魅力伝えるため、放送事業者と連携したPRドラマを制作

22



ラリーを生かしたまちづくりの推進 ②

11
住み続けられる
まちづくりを


15
緑の豊かさも
守ろう


17
パートナーシップで
目標を達成しよう


機運醸成と交通安全の推進

講習やイベントの開催 (1,149万円) 拡充

ラリードライバーによる安全運転講習の開催や、運転の正確さを競う競技「オートテスト」などのイベント開催により、世界ラリー選手権開催の機運醸成や交通安全意識の高揚を図る

(オートテストの様子)



山村地域の振興

山村地域の観光施設の再整備 (5,965万円) 拡充

世界ラリー選手権開催を契機とした山村地域の観光施設の魅力向上と活性化を図るため、旭高原元気村や三河湖周辺の施設修繕を行うとともに、令和6年度に向けて旭高原元気村の水回り施設整備や三河湖観光センターの再整備を実施

(旭高原元気村キャンプデッキ)



23

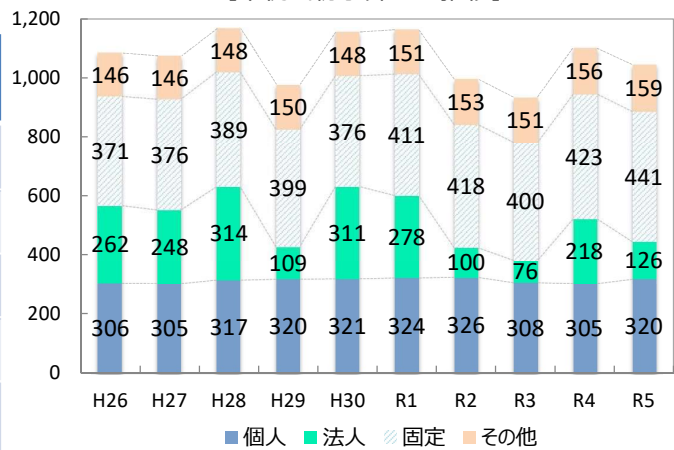
■ 歳入の特徴 <市税>

- ・市税1,046億円、対前年度56億円の減
- ・法人市民税は企業業績の変動等により減
- ・個人市民税、固定資産税は増。固定資産税は過去最高

【市税の対前年度比較】 (単位：億円)

	5年度	4年度	増減
個人市民税	320	305	+15
法人市民税	126	218	▲92
固定資産税	441	423	+18
その他市税	159	156	+3
計	1,046	1,102	▲56

【市税当初予算額の推移】 (単位：億円)



市税 予算	1,085	1,075	1,168	978	1,156	1,164	997	935	1,102	1,046
----------	-------	-------	-------	-----	-------	-------	-----	-----	-------	-------

24

■ 歳入の特徴 <市税以外の歳入>

- ・ 国県支出金ほか歳入確保を推進。基金・市債の活用もあわせ事業財源を確保

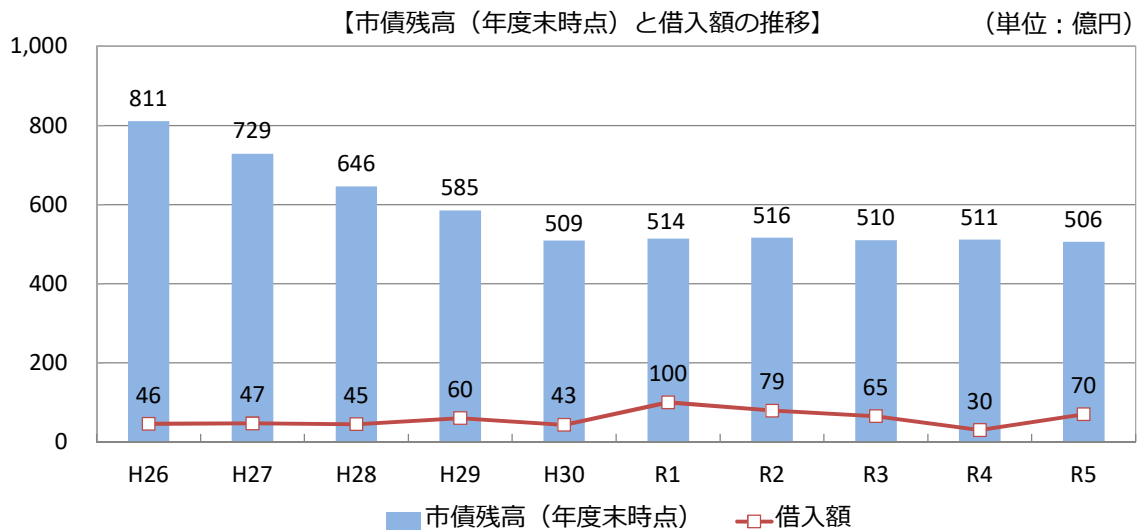
(単位：億円)

区分	5年度	4年度	増減額	主な増減理由
地方譲与税 各種交付金	173	169	+4	地方消費税交付金 +10.2億 法人事業税交付金 ▲9.1億
国県支出金	381	359	+22	介護施設等整備事業費補助金(県) +9.5億 社会資本整備総合交付金(国) +7.2億 市街地再開発事業等補助金(県) +2.5億 アジア大会施設改修事業費補助金(県) +1.3億 教育・保育給付費交付金(国) +0.9億
使用料及び手数料 財産収入・寄附金 諸収入・その他	134	108	+26	財団法人高橋記念美術文化振興財団償還金 +10.5億 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 +4.9億 寄附金 +4.2億 塵芥処理手数料 +3.8億
繰入金	79	33	+46	財政調整基金繰入金 +25.0億 公共施設安全安心基金繰入金 +20.0億
市債	70	30	+40	
計	837	699	+138	

25

■ 歳入の特徴 <市債(借入金)> 70億円

- ・ 将来の成長につながる投資的事業を進めるために活用



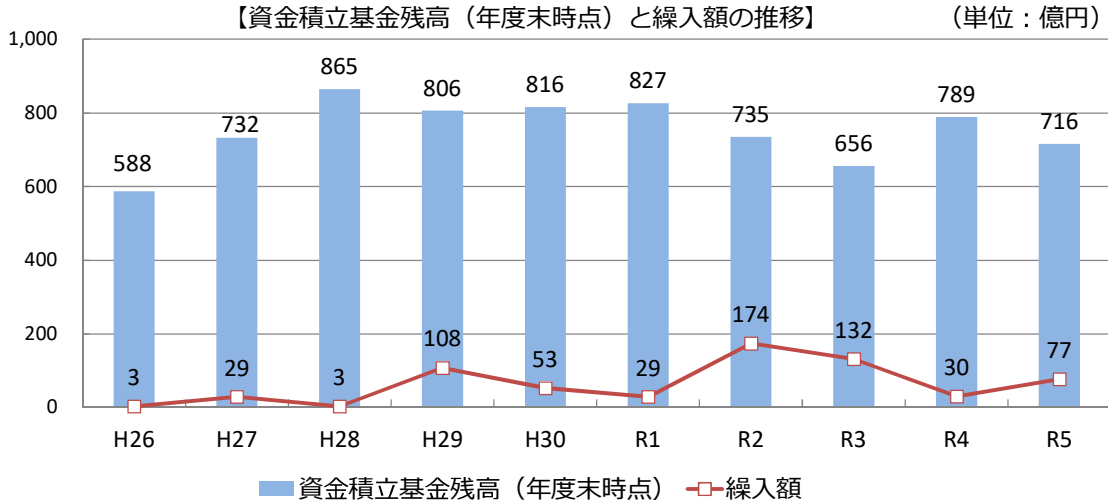
元金償還額	133	129	128	121	119	95	77	71	77	75
-------	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----

※H26～R3は決算額、R4及びR5の借入額は当初予算額、R4市債残高には繰越分、補正予算分を含む

26

■ 歳入の特徴 < 基金 (繰入金) > 77億円

- ・これまで積み立ててきた特定目的基金を計画的な施設整備等に活用 35億円
 (スカイホール豊田長寿命化、名鉄若林駅付近連続立体交差事業など)
- ・財政調整基金は42億円を活用



積立額	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
積立額	249	173	136	49	63	40	82	53	163	4

※H26~R3は決算額、R4には補正予算分を含む、R5は当初予算額

27

■ 歳出の特徴 < 義務的経費 >

- ・義務的経費は微増 (人件費・公債費は減、扶助費は増)

(単位: 億円)

区分	5年度	4年度	増減額	主な増減理由
人件費	323	328	▲5	定年延長に伴う職員退職手当の減 ▲10.5億
扶助費	355	346	+9	障がい者介護給付費 +6.2億
公債費	77	78	▲1	元金 利子 ▲1.3億 ▲0.3億
計	755	752	+3	

28

■ 歳出の特徴〈その他経費〉

- ・ 将来への投資、安全安心のための施設保全等の推進により普通建設事業費が増

(単位：億円)

区分	5年度	4年度	増減額	主な増減理由
物件費	383	373	+10	情報システム基盤費 +2.7億 放課後児童クラブ管理運営費 +1.9億 小中学校一般管理費 +1.5億
維持補修費	35	32	+3	路面舗装修繕費 +2.2億
補助費等	237	231	+6	水道事業補助金 +7.9億
普通建設事業費	362	313	+49	渡刈クリーンセンター施設整備費 +14.4億 スカイホール豊田長寿命化推進費 +14.0億 名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業 +13.8億
繰出金	88	81	+7	都市計画事業土地区画整理特別会計繰出金 +5.3億
その他	23	19	+4	
計	1,128	1,049	+79	

29

■ 歳出の特徴〈普通建設事業費〉

- ・ 将来のまちづくりに必要なハード整備を計画的に推進

5年度当初予算 362億円

+ 国の大型補正等による3月補正予算 31億円 (令和5年度に繰越)

393億円 ※維持補修費を合わせると428億円

■ 新たに工事着手する主な事業

※金額は5年度の事業費

スカイホール豊田の長寿命化 (令和5~6年度)	14.0億
中山小学校の校舎整備 (令和5~8年度)	5.0億
高橋節郎館の改修 (令和5~6年度)	2.4億

■ 主な継続事業

※ () 内は前年度比較

名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業	50.6億 (+13.8億)
(仮称) 豊田市博物館建設事業	32.9億 (▲1.1億) ※3月補正含む
渡刈クリーンセンターの大規模改修	14.8億 (+14.4億)
特別養護老人ホーム等整備事業	12.1億 (+7.6億)
中央公園第二期整備	9.7億 (+3.3億)
土地区画整理事業 (土橋、花園)	9.7億 (+2.9億) ※3月補正含む
道路・河川の防災対策	9.7億 (+0.2億)
都心環境計画推進費	8.3億 (+2.0億)

30

■更なる歳入確保、事業・事務の最適化等の推進

●積極的な歳入確保の取組 **38.9億円** ※令和4年度3月補正(9.6億円)を含む

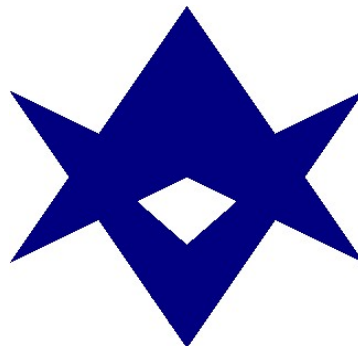
- 国県補助金等の積極的な確保
- 未利用財産の売却の推進
- 寄附金の積極的な確保 など

●事業・事務の最適化等の推進 **▲17.4億円**

- 庁内ネットワーク整備によるパソコン台数の削減
- 学校コンピューター室の見直し
- 消防車両の更新車種の見直し
- 中小企業のデジタル化支援補助金の見直し
- 林業新規就業者育成推進事業費補助金の見直し
- 決算に基づく適切な予算配分 など

31

施策別の事業内容は別冊「豊田市の予算」にて御確認ください。



豊田市は、持続可能な開発目標を支援しています。